

## 東京オートサロンに見る最新チューニングパーツ事情

東京オートサロンでは、毎年さまざまな新製品が展示される。

そこには近日発売予定や、開発中の新しいアイテムも多く、これからのトレンドを探るのに最適だ。

CFRP インテークシステム

2022年夏発売予定

ここでは、走りの性能に関わるチューニングパーツに絞ってピックアップしたユニークな新アイテムを紹介しよう。

まとめ・写真: 斉藤精一郎

開発や製造がデジタル新時代に突入!?

## トポロジー最適化で特徴的な形状

ENDLESS

Racing MONO6GT2022(ブレーキキャリパー)

📞 エンドレス [www.endless-sport.co.jp](http://www.endless-sport.co.jp) ☎0267-68-6888

スーパーGTなどにも使われる予定のブレーキキャリパー。最先端のトポロジー最適化技術で設計され、5軸マシニングセンタによって切削加工で成形されている。強度・剛性を落とさず片側約400gの軽量化を達成したという。近日発売予定。



## 3Dプリンターで検討した最適形状

HKS

CFRP インテークシステム(インテークパイプ)

📞 HKS [www.hks-power.co.jp](http://www.hks-power.co.jp) ☎0544-29-1235

R32型GT-R用の純正タービンを想定した効率のいいインテークシステム。展示品は3Dプリンターで作った試作品。市販品はCFRP(カーボン繊維強化樹脂)製になる予定だ。途中で太さが変わったり、単純ではない曲がりかたをするなど金属パイプでは作るのが困難な形状になっている。夏頃発売予定。

## 従来製法では不可能な放熱性と軽さ

Winmax

EXTREME 3D

BACKING PLATE (ブレーキパッドの座金)

📞 ウィンマックス <http://www.winmax.jp/> ☎0267-67-7700



試作品のブレーキパッドのバックプレート。3Dプリンターで作ったチタン製で、摩擦材の剥がれを防ぐ突起がついているほか、プレート内部に空気を通す通路とフィンがついていて高い放熱性と軽さを発揮する。発売時期未定。

## チューニングパーツのカタチが変わる!?

デジタルトランスフォーメーションの時代だ。PCやスマホだけでなく、さまざまなサービスや製品がデジタル技術の恩恵を受けている。

いっぽうでチューニングパーツの分野では、そういった最新デジタル技術の活用はそれほど普及してはいなかった。それは、チューニングパーツはもともと大量生産品というよりは、手作りの一品モノに近い性質のものが多く、開発の際にそういった最新のデジタル技術を導入した際のコスト回収がむずかしかったのではないかと考えられる。しかし、いよいよメリットがデメリットを上まわってきたようだ。2022年の東京オートサロンでは、これまでなかったような新しい時代の手法で開発されたパーツが目をつけた。

まず個性的な外観で印象的だった